



森の楽校だより

VOL. 6

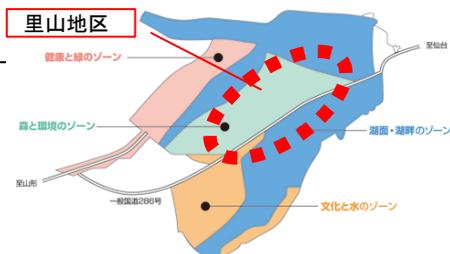


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成26年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成24年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にビューポイントや園路づくり、施設づくりなど活動の場を広げていきます。



6月30日（土）曇り時々晴れ 看板取付け、杉の皮むき

「WELCOME 森の楽校」看板完成!!

ツリーハウスの階段上部に看板を取付けました。先日、準備した看板（根曲がりのスギ）に森で集めた小枝を使い、「WELCOME 森ノ楽校」の文字。（「の」は難しかったのでカタカナになったのはご愛敬!）

家に表札が付いたようで、一層愛着が湧いてきました。ということで、恒例の記念撮影!



あらかじめ、長めに残しておいた、階段の支柱に切り込みを入れ、看板を取付けました。

セカンドデッキづくり

セカンドデッキづくりでは、狭い足場上での作業が多くなります。一度に作業できる人数が限られるため、手分けをし、床板用の板引きや大引き、根太に使う丸太の皮むきなど材料の準備を並行して進めています。



手摺の仕上げ&階段づくり



手摺の中ほどの高さに転落防止のため、細いスギ丸太を取付けました。



メインの階段は、手摺の格子づくりと1段目の補修を行いました。

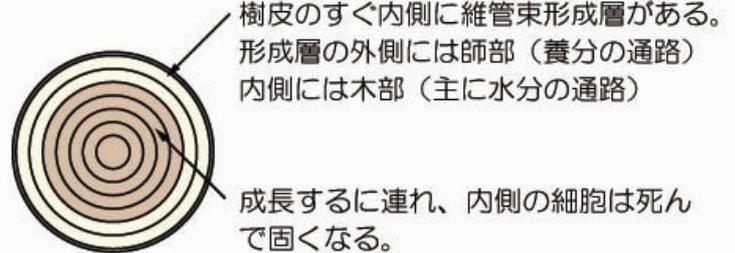
植物（樹木）のつくり

樹木の幹や根には、表皮近くに維管束形成層という部分があり、そこで盛んに細胞分裂を行っています。

維管束形成層を挟むかたちで、外側には師部（養分の通路）、内側には木部（水分の通路であり、体を支持する）があり、これらを合わせて維管束といいます。

維管束形成層は外側に向かって環状に成長し、その成長するスピードの差（春は盛んで、夏から秋にはゆるやか）によって生じる模様が年輪です。

このように春から夏にかけ成長する樹木の中でも、表皮の厚いスギは今の時期、水分を多く含み、皮がはがれやすい状態になっています。



成長するに連れ、内側の細胞は死んで固くなる。

樹木はこの部分で幹を支え、大きく成長していくことができる。



はがれやすくなったスギの皮をむく様子

野辺の草花

活動場所へ向かう途中、明るい草むらでも、色鮮やかな夏の植物を見ることができます。



ノアザミ



ヘビイチゴの実



ウツボグサ